



令和4年度学校だより

6月22日

五福校 ごふくこう

No36

文責 本田

都市デザイン課の方をお招きして景観について学習しました。

「熊本市景観学習動画」(YouTube)では古町についても取り上げてありますのでよかったですらご覧ください。



「熊本市景観学習動画」では洗馬くんが熊本市の景観について解説してくれます。

今日6年生は、熊本市の都市デザイン課の方に来てもらって景観に関する学習をしました。現在の6年生は5年生の時にSDGsについてしっかり学習していますが、今回また別の視点でまちを見ることができるようになったと思います。全くおなじところを見るときも、このような見方、考え方をしてみると全く違ったことに気づいていきます。

YouTubeで「熊本市都市デザイン」と検索していただくと「熊本市景観学習動画 熊本の景観を考えよう(都市デザイン課)」という動画が出てきますのでお時間がある時にでもご覧ください。関連して「くまもと暦まち360°」では360°VR動画で古町が紹介されており、別の発見があります。

- 景観は一人一人感じ方が違うこと
 - 場所によってふさわしい景観があること
 - 良い景観には人が集まること
 - 良い景観だと自分たちのまちが好きになること
- などをみんなで学ぶことができました。これからの6年生がどのように今日の学習を活かしていくのが楽しみです！

子どもたちの感想の一部

人によって景観の感じ方が違うことがわかった。景観は守るだけでなく作るものだとわかった。

これまで当たり前に通っていた場所や地域もよく見て見ると魅力を感じたり、そこならではの良さを感じたりすることができると思った。

昼と夜とで魅力が違うことがわかった。夜、ライトアップされると魅力が増す。雰囲気を手放してしまうとあたたかみが感じられず、まちの雰囲気が崩れてしまう。地域の人たちと協力し合うことでまちの魅力があるんだと思った。



1組も2組も活発に意見を出していました。

景観って一人ひとり感じ方が違うもの



その場所にふさわしい景観がある



良い景観には人が引き付けられる

